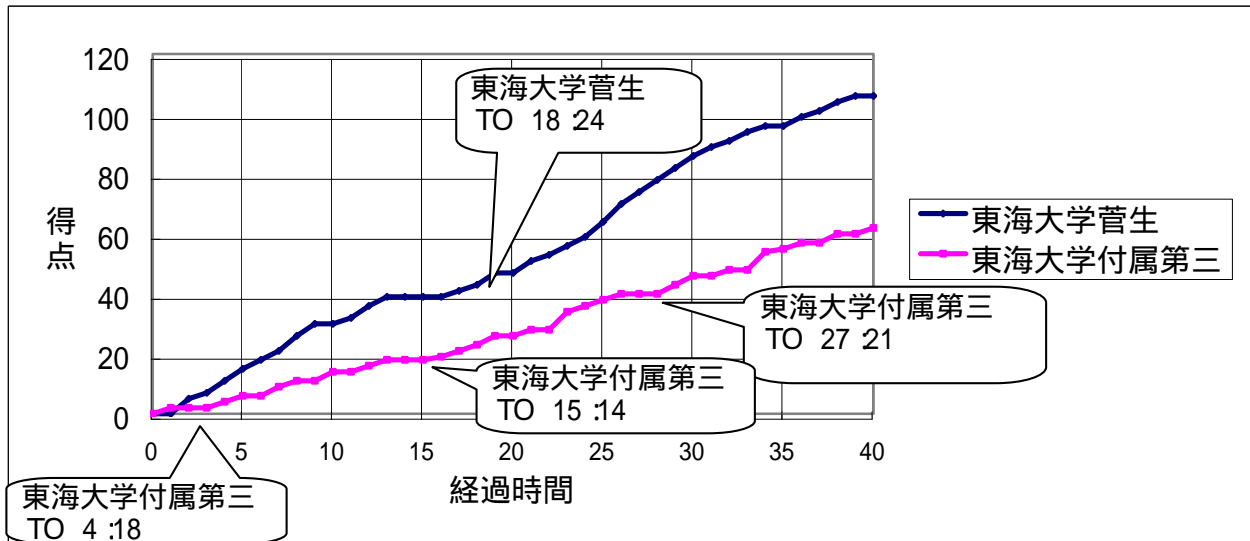


大会名	平成19年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール大会第60回全国高等学校バスケットボール選手権大会	J1	9:30	男子 1回戦	
		東海大学菅生	106	62	東海大学付属第三
		東京			長野
期日	2007年(平成19年)7月29日(日)				
会場	巖木高等学校				

主審 福岡 敏徳

副審 岩倉 徹



東海大学菅生

No.	氏名	点	3P	2P	FT	F
4	大野 恭介	13	1	5	0	1
5	矢木 真理	3	1	0	0	0
6	三村 辰之輔	17	4	2	1	1
7	佐々木 隼	21	0	9	3	2
8	入戸野 良	16	2	2	6	1
9	浜中 謙	1	0	0	1	2
10	白垣 一樹	0	0	0	0	0
11	高山 師門	29	0	13	3	1
12	辻 翔太郎	2	0	1	0	1
13	大野 竜一	0	0	0	0	0
14	鈴木 ディオン	2	0	1	0	3
15	平間 悠也	2	0	1	0	1
16						
17						
18						
コーチ	小山 正男					
	合計	106	8	34	14	

東海大学付属第三

No.	氏名	点	3P	2P	FT	F
4	福嶋 秀太	20	6	1	0	1
5	神澤 徳	4	0	2	0	3
6	武井 恭兵	7	1	1	2	3
7	山田 光訓	2	0	1	0	0
8	神谷 圭祐	8	0	4	0	3
9	金井 大地	2	0	1	0	1
10	小林 亮太	3	0	1	1	0
11	江口 知樹	9	2	1	1	2
12	志尾本 祐太	0	0	0	0	1
13	北澤 縁樹	0	0	0	0	2
14	杉山 捷	7	1	1	2	2
15	福澤 陽太	0	0	0	0	1
16						
17						
18						
コーチ	入野 貴幸					
	合計	62	10	13	6	

はスターター(はキャプテン) 3P...3点シュート 2P...2点シュート FT...フリースロー F...ファウル

戦評

男子一回戦、東京代表の東海大学菅生高校と長野県代表の東海大学第三高校の試合は高さで勝る東海大菅生が106対62で二回戦進出を決めた。第1P、両チームともディフェンスはハーフコートマンツーマン。東海大菅生#5神澤から#8神谷へのバックアップで開始。東海大菅生も#11高山のリング下バスケットカウントで対抗。東海大菅生#8入戸野からの速い攻撃や#4大野のインターセプトで主導権を握り13対4。ここで東海大第三はタイムアウトをとるが、東海大菅生は速い攻撃と高さを活かしたインサイドプレーで次々と加点。第1Pを30対14で東海大菅生のリードで終了。第2P、東海大菅生は#7佐々木、#11高山のインサイドで得点を重ねていく。対する東海大第三は外からのシュートを狙うが得点が伸びない。前半終了間際に東海大第三#8神谷、#7山田の連続得点、#4福嶋の3Pで粘り43対23で前半戦を終了。第3P、開始から東海大菅生の#4大野、#6三村の3Pで流れに乗る。東海大第三も#14杉山の個人技や#4福嶋の連続3Pで追いつけるが、ディフェンスリバウンドが取ることができず流れをつかめない。一方東海大菅生は#8入戸野のドライブインからのパスが次々と得点につながり86対46で終了。第4P、東海大第三はインサイドで果敢に挑むがブロックされ苦しい展開。東海大菅生はメンバーを変えても、終始高さで圧倒。東海大第三はオールコートプレスで最後まで勝負をあきらめず粘るが、東海大菅生が106対62で試合終了。

記事者	原田 浩臣	(所属) 佐賀県バスケットボール協会
-----	-------	--------------------